

平成 24 年度 図書館モデル公開授業 研究実践校
札幌市立福住小学校 第 5 学年の実践

国語科 わたしたちの「図書館改造」提案 ～中央図書館へ行こう～

学習のねらい

- ・ 目的に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理し、自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果などを考えて書くことができる。
- ・ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

主な学習活動



1 事前の学習

「より多くの人に図書館を利用してもらうために、学校の図書館をもっと魅力的にするためのアイデアを考えよう」を課題に、自校の図書館の問題点を調査する。

2 中央図書館における調査活動

①オリエンテーション（中央図書館の職員による）

- ・ 中央図書館について
- ・ 利用のマナーなどについて

②調査活動（グループ活動）

「本を見つけやすくする工夫」「本に親しむ工夫」「利用しやすい工夫」など、自校の図書館の問題点を改善するための工夫について、課題を意識しながら調査する。

③調査したことを整理する活動

見つけた工夫点について個々で整理し、職員にさらに質問したいことを準備する。

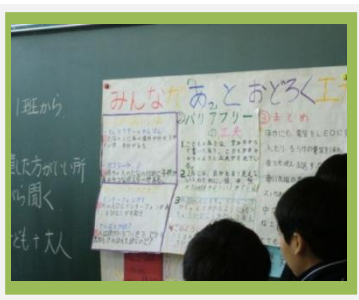
④中央図書館の職員との交流

中央図書館を探索した上での質問や感想など。



3 参観日の様子

後日、調査したことや、中央図書館の職員の方々に質問した内容をもとに、本校の図書館の改善したい点についてグループごとに解決方法を考え、参観日にて発表し、実現可能かどうかを柱に交流をした。解決方法によっては、図書委員会で採用され、実際に継続して取り組まれるものもあった。



授業の成果と課題

実践前の事前アンケートの結果によると、中央図書館を含め公共の図書館を利用したことがない、もしくはあまりない児童はおよそ 4 割いる中での実践となった。実践後、工夫点を見つけられた児童、それを自分の改善計画に生かせそうな児童はそれぞれほぼ 9 割となり、実際に中央図書館へ行き、調査活動をする事は、この学習において非常に有効であることが示唆された。実践後のアンケートによると、今後、中央図書館など公共図書館を利用してみたい児童は 9 割以上となり、児童の読書活動推進としても効果が見られた。

